

日本株上昇 日経平均は終値で4万円を回復

主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	1月7日	1月6日	前日差
日本	日経平均株価(円)	40,083.30	39,307.05	776.25
	-CME日経平均先物(円)	39,735.00	39,675.00	60.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,786.57	2,756.38	30.19
	参考)東証REIT指数	1,659.67	1,671.63	-11.96
米国	NYダウ(米ドル)	42,528.36	42,706.56	-178.20
	S&P500	5,909.03	5,975.38	-66.35
	-S&P500配当貴族指数	4,539.48	4,541.35	-1.87
	ナスダック総合指数	19,489.68	19,864.98	-375.30
ドイツ	DAX®指数	20,340.57	20,216.19	124.38
英国	FTSE100指数	8,245.28	8,249.66	-4.38
豪州	S&P/ASX200指数	8,285.10	8,257.45	27.65
中国	上海総合指数	3,229.64	3,206.92	22.72
香港	ハンセン指数	19,447.58	19,688.29	-240.71
インド	S&P BSE SENSEX指数	78,199.11	77,964.99	234.12
ブラジル	ボベスパ指数	121,162.66	120,021.52	1,141.14
先進国	MSCI WORLD	3,733.55	3,763.15	-29.60
新興国	MSCI EM	1,080.07	1,078.89	1.18
商品	(単位:米ドル)	1月7日	1月6日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	74.25	73.56	0.69
金	COMEX先物(期近物)	2,665.40	2,647.40	18.00
10年国債利回り	(単位:%)	1月7日	1月6日	前日差
日本		1.130	1.135	-0.005
米国		4.686	4.631	0.055
ドイツ		2.483	2.447	0.036
オーストラリア		4.478	4.469	0.009
為替(対円)	(単位:円)	1月7日	1月6日	前日比%
米ドル		158.05	157.62	0.27
ユーロ		163.42	163.77	▲0.21
英ポンド		197.21	197.37	▲0.08
カナダドル		109.99	110.00	▲0.01
オーストラリア(豪)ドル		98.48	98.46	0.02
NZ(ニュージーランド)ドル		89.05	88.94	0.12
シンガポールドル		115.86	115.61	0.21
中国人民幣元		21.540	21.497	0.20
インドルピー		1.8418	1.8326	0.50
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9791	0.9733	0.60
メキシコペソ		7.776	7.757	0.25
ブラジルリアル		25.912	25.795	0.45
トルコリラ		4.469	4.461	0.17
ロシアルーブル		1.4717	1.4667	0.34

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。
 MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。
 WTI(West Texas Intermediate)原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で取引される米国の代表的な原油先物。
 COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。
 表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。
 前日差は原数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。
 本資料は、作成時点でBloombergにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Bloombergにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。
 出所) MSCI、Bloombergより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



出所) Bloombergより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

- 日本株は上昇。人工知能(AI)関連への期待感などから半導体銘柄の好調に加え、国内金利上昇から銀行株も上昇。日経平均は一時1,000円近くまで上げ幅を拡大。
- 米ラスベガスで開催中のテクノロジー見本市(CES)にて、米半導体大手エヌビディアの自動運転向けAI製品でトヨタが顧客になると判明。トヨタ株は7日に上昇。
- 円は対米ドルで158円台に下落。円安けん制の要人発言などから一時157円台に戻すなど一進一退の動き。
- 米国株は下落。堅調な経済指標からインフレへの懸念が高まる。米10年国債利回りは4.7%台目前まで上昇。
- 12月ISMサービス業景気指数は52.1→54.1へ上昇。内訳の仕入れ価格指数は6.2pt上昇し64.4と高水準で先行きのインフレ再燃を懸念させる内容。11月米求人件数は783.9万件→809.8万件に増加し、労働市場の堅調を示唆。
- 欧州債券市場は米金利の上昇などを背景に長期金利が上昇。英10年国債利回りは4.7%台目前の水準、独10年国債利回りも国内の強い物価上昇圧力を背景に上昇。

◆本日の注目点:

FOMC議事録、ウォラーFRB理事講演

12月米連邦公開市場委員会(FOMC)の議事録が公表予定。同会合で決定された利下げ判断は僅差だったことが議長会見で示唆されており、先行きの金融政策も含め議論の内容に注目したい。また、要人発言として注目度の高いウォラーFRB理事の講演も控える。市場の織り込む1月FOMCの利下げ確率は5%弱と、据え置きの見方が大半を占め、利下げペース鈍化を織り込む。(清水)

主要国金利の動き



注) 直近値は2025年1月7日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2025年1月7日

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとし、FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会